

視聴覚教育

NO. 490

発行日

R06. 07. 11

編集・発行

岡崎市 A V L

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

目的に合わせた選択

学習情報指導員 竜海中学校 太田 尚志

我が家の洗濯場では、T社のUという洗剤が大活躍している。以前、同僚に教えてもらった商品だが、襟の汚れを落とす能力がかなり高い。私自身が使っているわけではないので恐縮だが、今まであきらめていた所まできれいになるのととても助かっている。ただし、商品の表面にはこのように書かれている。住宅用クリーナー。

こうしてみると、改めて「道具は使いよう」と感じる。推奨された使い方から外れる場合は安全面への配慮が欠かせないが、あくまで道具は道具。危険を危険たらしめるのは、道具ではなく使っている人間なのだ。もちろん、依存に陥りやすい道具はある。スマホやビデオゲームなどは、どうやら病的な没入感を生むようだ。

しかし、使用するかどうかを最初に決めるのは、ほとんどの場合本人であり、自らよくない方向へ進んでいるといえる。人工知能が人間の知能を超える「シンギュラリティ」は、二〇四五年ころにやってくると予想されている。人工知能の何が、人間の何を、どのように超えるのかはいろいろと想像することができが、いずれに

これ知ってる！？情報Ⅰ ビットとバイト

1bit(ビット)は2進法における1桁のこと。8bitが1B(バイト)。1KBは1,024Bである。本来、キロは1,000倍を表すが、コンピュータの世界は2進法で表すため $2^{10}=1,024$ を基準として用いることが多い。

しても「人間が、どのような目的で使うのか」をはっきりさせることが、人間の安全を保全することにつながるだろう。授業でもそうだ。

A中学校のB教諭は、子供がそれぞれに資料や他者の考えを見る場面ではタブレット端末を活用した。学びをゆだねられた子供たちは、それぞれに、十分調べ学習を進めた。地域にある歴史的建造物の写真を閲覧する場面では電子黒板を活用した。子供はよく見る建物が江戸時代からあると知り、感動を共有した。

目的に合わせて道具を選択し、適切な場面で活用した好事例である。このように、まずは大人が目的に合わせてICTを選択し、適切な利用をして子供の手本となりたい。そして、その次の段階として、子供が目的に合わせて選択できる姿を目指していきたい。学校現場で場面をつくり「選択力」を高めよう。

我が家の洗濯担当に「住宅用だけいいの」と聞いてみた。「洗濯機に入れる前に水道で洗ってよ。当たり前じゃん」と返ってきた。Uの液性は中性だが、念のため衣料用洗剤と混ぜられないようにしているとのことだった。ありがたいことである。我が家ではちゃんと目的に合わせた洗濯が行われている。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ

●パナソニック教育財団による実践研究助成

パナソニック教育財団の行う実践研究助成は、ICTを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画に助成されるものです。一年間の研究(課題テーマ)に対して五十万円が助成される「一般」と、二年間で百五十万円が助成される「特別研究指定校」制度の二種類があります。

●各種実践研究助成の紹介

- ・東書教育賞 (10月21日締切)
- ・パナソニック教育財団実践研究助成 (例年1月中旬締切)

●各種コンクールの紹介

- ・プログラミング・フェスタと同時開催されるプレゼンコンテスト (例年7月締切)
- ・アジア国際子ども映画祭 (例年8月末頃締切)
- ・ひろげよう情報セキュリティコンクール (例年9月末締切)
- ・ICT夢コンテスト (9月20日締切)
- ・ふるさと岡崎メディアコンクール (例年11月末頃締切)
- ・KWN日本コンテスト (1月14日締切)
- ・プリントコミュニケーションひろば (例年3月31日締切)

※日本こども映画コンクールは中止が続いています。

先生ご自身の実践はもちろん、子供の作品を積極的に応募してみてはいかがでしょうか。

Ⅱ実践報告Ⅱ

算数科「長さ」ミリメートルの学習

竜谷小 西片 茂雄

二年生の算数科「長さ」の学習では、センチメートルとミリメートルについて知り、測定の意味を理解する。ものさしを使い、身の回りの鉛筆や消しゴムの長さを正しく測定する。単位を用いて的確に測定することが出来る児童もいれば、ミリメートルが学習に加わった途端に答えをだすことに不安を感じてしまう児童もいた。

そこで、正しくものさしを使って測定する力をつけるために、タブレット端末を活用した。測定する物にもものさしを当てた写真を撮り、測定した数値を写真に書き加え、授業サーバー内の指定したフォルダに保存する。そして、長さを正しく測定できているか学級全員で確かめた。

児童は、「びつたり九センチだった。」「ちよつと一ミリちがうんじゃない。」などと測定した数値が正しいかどうか確かめることができた。不安を感じていた児童も、友達と何度も長さを確認したり、ピンチアウトで拡大して細かい目盛を丁寧に確かめたりすることで自信をもつて答えをだすことができた。ただ、改善すべき点もあった。斜め上から写真を撮ってしまうと誤差が出るのである。撮影の仕方について丁寧に説明を付け加えておけばよかった。



ただ、子供たちの困り感を捉え、適切にICTを使用する場を設定することで、学びを支えることができるようになった。これからも模索したい。

Ⅱレッツ・トライ！情報モラルⅡ

「スマホと、どう付き合うのか」

福岡中学校 杉崎 秀夫

「スマホは便利だけど、やめられなくなる」「スマホが近くにあると、つい手に取ってしまう」こうした生徒の発言から、一、二年生全学級の特別活動の授業で「メディア依存」について取り上げた。「なぜ、スマホやオンラインゲームをやめられなくなるのか」について、グループで話し合った。すると「届いたメッセージに対してすぐに返事をしていないと相手に悪い」「ゲームのキャラクターを強くするために、レベルアップしたい」などの意見があがった。依存については、「生活に支障が出る」「誰にでも起こり得ることだ」などの考えを深めていった。さらに、授業の振り返りでは、「楽しいし便利だから、やめたくても触ってしまう。ネットと上手に付き合っていくには、どうしたらいいのかな」という疑問が残った。そこで、七月の学校保健委員会では、「依存の正体」をテーマに、講演会を計画している。

また、本校では今年度、パナソニックの実践研究助成を受けて、「メディアの節度ある利用の仕方について自己管理できる生徒の育成」をテーマに研究を進める。情報モラルのアンケートを実施し、その結果を分析して、生徒の実態に合った課題を設定し、総合学習や道德の授業を進めていく。依存性の高いといわれるスマホの特性を理解した上で、メディアと上手に関わりながら生活することが出来る生徒を育てていきたい。



ライブフリーだよ

令和6年度「親子映画会」のお知らせ

〈上映日〉

- ・ 7月21日(日)
午前 矢作市民センター
午後 大平市民センター
- ・ 7月28日(日)
午前 岩津市民センター
午後 南部市民センター
- ・ 8月4日(日)
午前 東部市民センター
午後 額田センター
- ・ 8月18日(日)
午前 六ツ美市民センター
午後 中央市民センター

〈上映時間〉

- ・ 午前の部 午前10時～11時30分
 - ・ 午後の部 午後2時～3時30分
- ※南部市民センターのみ、午後2時30分～4時になります。

〈上映作品〉

- ・ ちびまる子ちゃん
- ・ エジソン物語
- ・ きんたろう

・ 日本のおばけ話「絵からとびだしたねこ」
・ 忍たま乱太郎「よいと思うことをおこなう」
上映日ごとに上映作品が異なります。詳細は視聴覚ライブラリーHPでご確認ください。

〈申込方法〉

- ① インターネット(視聴覚ライブラリーHP)
- ※案内ちらしQRコードからも可能です
- ② 電話(23-6789)

